

「聖地」でプロポーズ 佐久の夫妻

八千穂高原

静岡県のNPO法人に「恋人の聖地」と認定されている南佐久郡佐久穂町の八千穂高原に町が「恋人の小径こみち」を整備、17日、高原でプロポーズをして結ばれた佐久市の夫妻がシラカバの記念植樹をした。「聖地」をアピールする狙いで、今後は恋人たちの「思い出の地」となるように希望者を募り、小径沿いにシラカバを植えてもらう。

シラカバの群生がロマンチックな同高原は2006年に「聖地」と認定された。小径は昨年

「恋人の小径」に植樹

度、人工池「八千穂レイク」の計画だ。

脇やシラカバ林の中を通る約3

00坪に設けた。サラサドウダ

沢の宮崎信也さん(31)、文子さ

ンツツジを植えた両脇にシラカバを植え、シラカバ並木にする

たことから、09年10月、信也さ

んが湖畔に立つ「恋人の聖地」

と書かれたプレートの前でプロ

ポーズした。

文子さんは現在妊娠中で、今月中に出産予定という。2人は「家族の人数分」として、背丈が2歳余あるシラカバを3本植樹し、「おなかの子の記念になる」と笑顔を浮かべた。植樹したシラカバはまだ若く樹皮が赤茶色をしているが、町によるとあと5年ほどで白くなるという。

今後、小径への植樹は有料。

問い合わせは町産業振興課(☎

0267・88・3956)へ。



八千穂高原にできた「恋人の小径」にシラカバを植える宮崎さん夫妻